

令和7年度学校基本統計 [問題：全2問]

問1.令和7年度学校基本統計で示された「在学者数」について、最も不適切なものはどれか。

- 1.義務教育学校の在学者数は、過去最多となった。
- 2.中等教育学校の在学者数は、過去最多となった。
- 3.大学（学部）の在学者数は、過去最多となった。
- 4.大学（学部）の学生に占める女子学生の割合は、初めて半数を超えた。

[第21回問25、2級第23回問21改題]

問2.令和7年度学校基本統計で示された「卒業後の状況」について、最も適切なものはどれか。

- 1.高等学校卒業者に占める大学・短期大学への進学者の割合は約6割である。
- 2.大学（学部）卒業者に占める就職者の割合は9割を超えている。
- 3.大学（学部）卒業者に占める大学院等への進学率は約3割である。
- 4.修士課程修了者に占める就職者の割合は9割を超えている。

[第29回問28、2級第33回問21改題]

令和7年学校基本統計 [正答と解説：全2問]

問1

正答：4

- 1.○：小学校、中学校が過去最少になった一方で、小学校と中学校を合わせた義務教育学校の在学者数は過去最多となった。【P1】
- 2.○：中学校、高等学校が減少している一方で、中学校と高等学校を合わせた中等教育学校の在学者数は過去最多となった。【P1】
- 3.○：大学（学部）の在学者数は約265万人で、過去最多となった。大学院（約28万人）も過去最多である。【P2】
- 4.×：大学（学部）の女子学生は、過去最多だが、割合は約46%で半数は超えていない。

問2.

正答：1

- 1.○：61.4%（うち、大学（学部）58.3%）であり、過去最高である。なお、専門学校への進学者は14.4%であり、就職者の割合は過去最低の13.8%であった。【P5】
- 2.×：卒業者に占める就職者の割合は、77%であり、大学院等への進学率は約13%である。【P6】
- 3.×：12.7%であり、そこまで多くはない。【P6】
- 4.×：78.2%で、そこまで多くはない。11.2%が進学者であり、進学でも就職でもないことが明らかなものが約10%である。【P7】